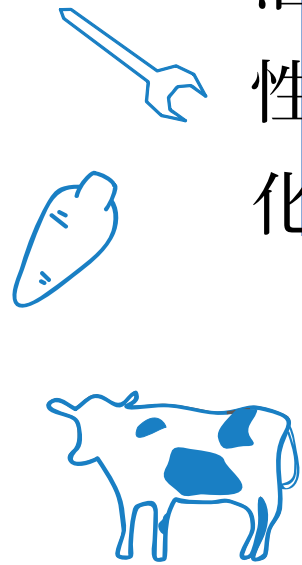


設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(8) 地域の特産品、お土産などの開発	43	43	0	32
(9) 地場資源などの活用による企業の支援	43	42	+1	35
(10) 地場性の高い新作物や加工品の研究開発	41	41	0	35
(11) 通年雇用型の企業の誘致	34	33	+1	28
(12) 若者が働ける職場づくり	28	27	+1	23
(13) 既存企業の育成・振興	38	37	+1	35
(14) 地元農産物の販売環境	43	43	0	35
(15) 地域密着型の安心できる商店の育成	34	33	+1	32
(16) 買い物にやさしい商店街の環境づくり	33	31	+2	29
(17) 町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進	38	36	+2	31
(18) 温泉保養やスポーツを活かした宿泊や滞在型観光の推進	32	30	+2	31
(19) カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進	47	46	+1	43
(20) サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり	34	31	+3	31

産業活性化



水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち

行政評価結果

「町民アンケート」結果

町では「第5次弟子屈町総合計画」の進捗状況を評価する行政評価を実施しており、その成果指標とするために、毎年度「町民アンケート」を実施しています。今年6月に実施したアンケートの結果と、アンケート結果などを踏まえて行われた「行政評価」の結果をお知らせします。

アンケートにご協力いただき、ご意見をお寄せいただいた皆さま、ありがとうございました。

実施内容

目的／広聴活動の一環および総合計画の達成度を測る指標の現状を調査する

対象／20歳以上の町民名簿から無作為に抽出した1000人

期間／6月7日発送、回答期限を6月21日に設定

回答率／37.4%

評価方法

アンケートのうち、行政評価・まちづくりに関する設問(問8、問16)について、それぞれの項目ごとに大変満足「5」、満足「4」、ふつう「3」、あまり満足でない「2」、満足でない「1」のいずれかに○印をつけてもらい、それを集計・点数化しました。

大変満足「100点」、満足「75点」、ふつう「50点」、あまり満足でない「25点」、満足でない「0点」として集計しています。

また、自由記載欄には自由に意見を書いていただき、161件の意見をいただきました。主な意見を掲載します。

暮らし

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(21) 検(健)診など健康づくり事業の推進	55	54	+1	47
(22) 医療施設の診療科目など医療の充実	37	40	-3	28
(23) 医療費助成の充実	48	49	-1	40
(24) 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	49	51	-2	42
(25) 高齢者のための健康・生きがいづくり	50	50	0	44
(26) 自立支援や在宅介護など障がい者(児)福祉制度の充実	48	49	-1	45
(27) 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実	46	45	+1	36
(28) 母子・父子家庭福祉サービスの充実	48	47	+1	45

町民の声
(自由記載から一部を掲載)

○気軽に利用でき、食事もできる温泉施設があると思います。

○もっと生活の基盤である法人企業を育成、もしくは増やすべき。

○新規起業家への積極的な支援が必要だと思ふ。

○大きめの100円ショップがあれば生活がより便利になる。



弟子屈町の子どもたちに明るい未来を

回答結果

問8 弟子屈町の生活環境やまちづくり、町政についての満足度をお尋ねします。

※町民アンケートのうち、行政評価・まちづくりに関する設問(問8、問10)の回答のみをお知らせします。

問16 よりよいまちづくりに向けて、あなたのご意見を自由にお書きください。(自由記載)

環境

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(1) 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護	62	62	0	51
(2) 自然環境と調和する町並み景観の整備	45	45	0	37
(3) 緑化や花いっぱい運動などの推進	54	54	0	48
(4) 自然開発におけるルールづくりの推進	47	49	-2	42
(5) 省資源や省エネルギー化の推進	46	50	-4	42
(6) ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進	60	62	-2	54
(7) 新エネルギーなどCO2を削減する環境保全の推進と啓蒙	46	50	-4	45

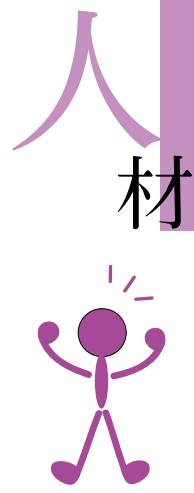
町民の声
(自由記載から一部を掲載)

○自然環境や、美しい弟子屈の風景を守っていくため、さまざまな角度からの検討も必要ではないか。



郷土を学び誇れるまちに

項目	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(52) 姉妹都市交流や他市町村・国際交流機会などの充実	48	47	+1	48
(51) 他地域へ誇る郷土愛を育む学習や町の魅力を高める活動参加機会の充実	45	44	+1	45
(50) 町民同士や団体同士の連携や協力	44	44	0	42
(49) 団体やサークル、リーダーの育成	44	43	+1	42
(48) 弟子屈町のことを学ぶ機会の充実	44	44	0	38
(47) 人材育成の推進	42	40	+2	38
設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)



町民の声
(自由記載から一部を掲載)

○子どもの医療費の助成制度はとても助かっているで続けてほしいです。
○乗合バスがあると便利。住人同士で交流もできるので良いと思う。
○もっと花がたくさんある町に。弟子屈といえば、という統一感のあるまちづくりを目指してほしいです。



町の景観について町民の皆さんと談義(弟子屈町景観ワークショップ)

(39) 学校施設の整備	54	54	0	51
(38) 消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備	56	56	0	40
(37) 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性	42	40	+2	47
(36) 住宅周辺や幹線道路の除雪や排雪	52	51	+1	48
(35) 安全な通行と輸送などのための道路整備	48	47	+1	42
(34) 公園、子どもの遊び場、散策路の整備	42	40	+2	49
(33) 観光のまちにふさわしい街並み景観の整備	35	35	0	46
(32) 下水道の整備	50	48	+2	46
(31) 町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の共同推進	46	46	0	46
(30) 子育てしやすいまちづくりの推進	47	45	+2	46
(29) 保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実	50	49	+1	46
設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)

その他

町民の声(自由記載から一部を掲載)

○移住者が地元の人と早くなじめるように、交流の場や機会が増えたと嬉しい。
○生態系を考慮した自然を次世代にバトナタッチできるように、環境問題や町づくりについての学習の場を広い年齢層に作ってほしい。

(60) 財政の健全化	45	42	+3	40
(59) 施策の考え方の公表(施策の説明責任)	44	45	-1	43
(58) 行政サービスの向上と迅速化	45	45	0	44
(57) インターネット、ラジオ、テレビなどの地域情報基盤の整備	49	45	+4	44
(56) 広報や町ホームページ、広聴の充実	54	54	0	50
(55) バリアフリー化の推進	43	43	0	43
(54) 地域コミュニティ会館の整備	46	46	0	50
(53) 町民主体のまちづくり活動の推進	46	45	+1	44
設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)

行政

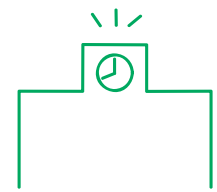


様々な方法で町の情報を発信

町民の声
(自由記載から一部を掲載)

○町で取り組んでいることなどをもう少しわかりやすく教えてほしい。
○総合連絡窓口を作ったり、町のホームページなどを利用して、町と住民双方方向のコミュニケーションの強化を検討してほしい。
○あれもこれも、ではなく、何かに特化した町づくりを考えてみるのも良いのではないのでしょうか。

教育



町民の声
(自由記載から一部を掲載)

○カヌーや乗馬、トレッキングや乳しぼりなど、子どもたちにふるさと教育をするべき。学校給食にも、もっと地元のものを出すべきです。

(46) アウトドアライフを楽しむための施設や機能の整備	44	43	+1	43
(45) スポーツ環境の充実や施設の整備	43	43	0	43
(44) 芸術や文化に触れられる機会の整備	43	43	0	44
(43) 図書館や資料館などの施設や機能の充実	46	47	-1	45
(42) 生涯学習機会の充実	50	50	0	47
(41) 幼児教育や機能の整備	50	50	0	46
(40) 教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境	51	51	0	46
設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)



今年移転した郷土資料館

行政評価 結果

2次評価(町長・副町長・教育長 による評価)の結果(主なもの)

施策	改善点と今後検討すること
適切な風景形成の推進	摩周湖水質調査の継続・効果的な要望活動の検討
雇用・新産業の創出	地熱を利用した発電事業の検討と推進
国立公園満喫プロジェクト	ホテル解体後の敷地の活用方法の検討
医療環境の充実	担い手不足解消に向けた情報発信の継続
移住促進事業	移住した方のデータの収集と移住対策への活用
情報共有の充実	前年層層に向けた効果的な情報発信の継続
ふるさと納税	返礼品事業者との連携・さらなる事業の推進

町では「第5次弟子屈町総合計画」の目標年次である令和3年度末までにまちの将来像が達成できるよう、毎年度、行政活動を評価して改善に取り組むことにしています。評価は全部で3階層によって行われ、1次評価が職員の評価、2次評価が町長、副町長、教育長の評価、3次評価が町民評価委員会の評価となっています。今年度の各評価の内容は、1次評価では、前年度に行った事務事業とそれを束ねる施策の評価。2次評価では、施策の方向性に関する評価。3次評価では、評価結果を受けた改善点に関する評価を行いました。

3次評価(町民評価委員会による 評価)の結果(主なもの)

1 屈斜路湖での動力船乗り入れが禁止になるなどの規制が行われるが、もつとわかりやすく情報提供をし、広い屈斜路湖をどう守っていくか、見回りの強化なども検討してほしい。

- 2 有害鳥獣による農業被害も年々増えており、ハンターも高齢化が進んでいる。ハンターの免許を取る若者を増やすため、ハンターについての情報発信に力を入れてほしい。
- 3 新型コロナウイルス感染症の影響でゴミの回収をしていないところが多く、旅・キャンプをしている人が困っている。現在道の駅で回収受け入れをしてくれているが、継続していくとともに、もつと周知していくべき。また、そういった場所を町内各地に整備してほしい。
- 4 特産品としてチーズ、ワイン、和牛も進んでいるが、町民の方に食べてもらう機会を増やし、おいしいと言ってもらえるような、味や完成度にこだわった商品の開発を推進してほしい。
- 5 中心市街地再構築基本計画は、町民の方がさまざまな意見を出して計画ができたと思う。実施設計の段階では、民間企業の考えを取り入れるような設計として、しつかり運用できるように進んでほしい。
- 6 人手不足の要因として、住居確保の困難さがあげられる。ほかの自治体も似た問題を抱えているが、弟子屈町でも住宅対策をしつかり検討してほしい。
- 7 学校給食で地産地消とあるが、どこかの何の食材をどれだけ何に使っているのか周知してほしい。また、子どもたちの反応はどうかなどにも励みになるのではないか。
- 8 ふるさと納税が伸びているうちからさまざまなものに投資を行ってほしい。地熱発電など再生エネルギーなどについてさらに進んでほしい。

弟子屈小学校4年生に防災教室を開催

防災ワンポイントコーナー

町では、弟子屈小学校(大西展史校長)の体育館で、防災教室を10月27日(水)に開催し、同小学校4年生29人が参加しました。

この教室は社会科の授業「地震にそなえるまちづくり」の一環として行われたもので、さまざまな体験を通し災害時の対応について学びました。

教室では、はじめに段ボールベッドの組み立て実習を5つのグループに分かれて行い、5分ほどで組み立てた段ボールベッドの上に実際に横になったり、グループ全員で乗ったりして「意外と丈夫」と驚いていました。次に3つのグループに分かれ、①簡易トイレの組み立てと座り体験、②水袋の作り方と運搬体験、③手回し式ラジオライトの蓄電・使用とソーラーライトの点灯体験を行いました。どの児童も楽しみながら真剣に取り組んでいました。

体験を終えた児童からは「避難所生活のたいへんさが分かった」「お年寄りや困っている人のために段ボールベッドを組み立てたい」などの感想が聞かれました。

町では自治会や学校、企業・施設などを対象に、防災研修会や防災訓練を開催しています。今年度はこれまでに、川湯小学校(藤田崇充校長)教職員へのD o - H U G (避難所運営ゲーム)指導、同中学校全校生徒への一日防災

学校支援、弟子屈中学校(成瀬剛慈校長)全校生徒への防災教室支援を行っています。今後も学校関係のほか、事業所や自治会への防災教室の支援を行いますので、希望される方はお気軽にお問い合わせください。



自分たちで組み立てた段ボールベッドの寝心地は?

問い合わせ先/役場総務課防災情報係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 2 (課直通)

ご利用ください 空き家バンク・人財バンク

町で実施している「空き家バンク制度」「人財バンク制度」を紹介しています。

11月8日現在、「空き家バンク」で募集している空き家物件は3件(売買3件)。今月は「登録番号27物件」を紹介します。

「人財バンク」に登録されているのは、個人登録5人、団体登録9団体。今月は団体登録番号9「摩周歩くスキーと山の会」を紹介します。

それぞれの詳しい内容は、町公式ホームページに掲載しています。ご覧いただき、ぜひ、ご利用ください。

▶空き家バンクホームページ

https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/kurashi/kurashi_tetsuzuki/sumai_seikatsu/1/1658.html

▶人財バンクホームページ

https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/kurashi/soshikiichiran/kyoikuiinkai_shakaikyoikuka/jinzaibank/996.html

空き家バンク



人財バンク



空き家バンク 登録番号27

- ▶場所/弟子屈町高栄3丁目441番1、441番16
- ▶建物/木造2階建て6LDK
- ▶建築年/1979年(昭和54年)
- ▶価格/300万円

人財バンク 団体登録番号9

- ▶団体名/摩周歩くスキーと山の会
- ▶分野/スポーツ活動
- ▶PR/夏は2回の山行を計画し、町内や近郊の山を中心に自然に親しみながら登山を楽しんでいます。冬は個々の体力に合わせて、9000歩くスキーコースで歩くスキーを行っているほか、歩くスキー普及のためのイベントも実施しています。会員は20代から80代と年齢も幅広く、楽しみながら活動をしています。健康のためにもぜひ加入して一緒に活動しませんか。

問い合わせ先/空き家バンク/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)
人財バンク/教育委員会社会教育課社会教育係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 8 (課直通)

問い合わせ先/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)